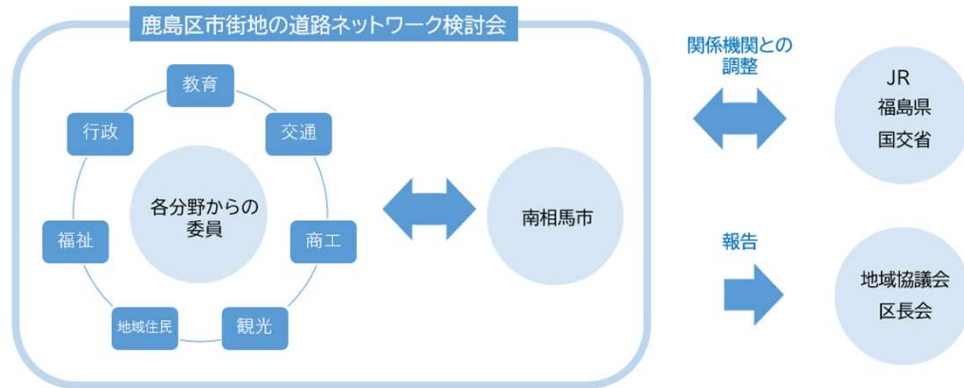


1. 背景、目的、進め方

背景	- 鹿島区市街地と国道6号の間にJR常磐線が通っており、さらにそれらが近接しているという鹿島区特有の地形から、市街地と幹線道路のアクセスの悪さが以前から課題となっている - 市街地北側に位置する横手踏切について、JR常磐線と国道6号との交差角度が悪く課題となっている - 東日本大震災により土地利用が著しく変化した - 岩妻茂手線(2工区)について予備調査設計を行った結果、事業費が約61.5億円であることがわかり、事業を見送る方針となった - 鹿島区市街地の道路には多くの課題がある - 少子高齢化や人口減少による厳しい財政制約の下においても、持続的に安全・安心な道路ネットワークの整備が必要となる - 地域との意見交換を通じて地域が感じている課題を把握し、解決策を検討する必要がある。
目的	地域住民との意見交換により鹿島区市街地の道路の課題を明確にし、解決策を考え、今後の道路施策に反映させていく。
進め方	- 本検討会により、地域住民目線での道路に関する課題を抽出する - これらの課題について意見交換により解決策を検討する - これらを取りまとめ整理する - 今後の道路ネットワークを検討するための資料を作成する

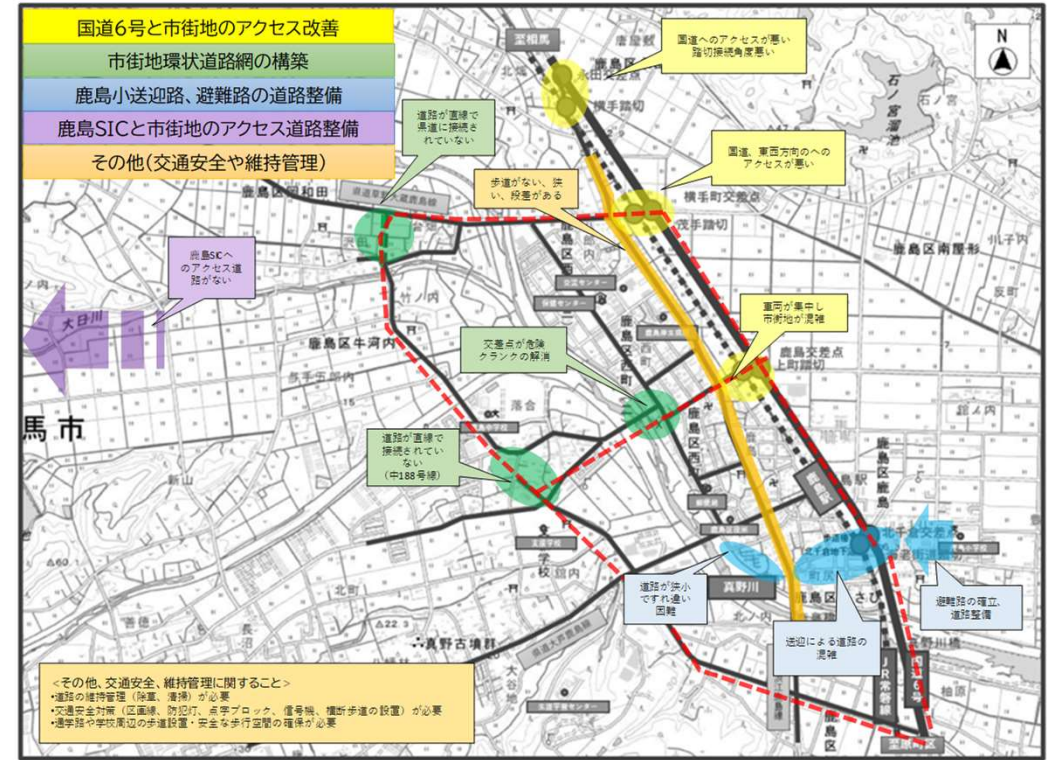
2. 体制



3. 実施内容

第1回	令和6年8月30日	テーマ絞らず自由に意見交換	<意見交換内容詳細> 鹿島区道路全体 - 道路ネットワークに関すること - 交通安全に関すること - 維持管理に関すること - 避難路に関すること
第2回	令和6年11月12日	道路ネットワークに絞り意見交換	<意見交換内容詳細> 道路ネットワーク関連 - 市街地環状道路の構築 - 国道6号と市街地のアクセス改善 - 鹿島小送迎路・避難路の整備 - 鹿島SICと市街地のアクセス道路
第3回	令和7年3月18日	全体のとりまとめ・委員意見発表	<意見交換内容詳細> - 第1回及び第2回の意見まとめた概要版の報告 - 課題の要約 - 方策の整理(短期～中長期) - 検討会全体を通しての意見発表

4. 検討結果(概要図面)



5. 検討結果(概要一覧表) ※裏面参照

6. 検討委員からのご意見(抜粋)

- 住民が考える課題を把握してもらったと思う。ぜひ実行し具体化してもらいたい
- 少子高齢化、予算、費用対効果などを考慮するとハードルが高いと感じる。検討会としてもやはり一番大きな課題は踏切であるという認識だったので、検討での話が突破口になればありがたいと感じた。
- 長期的な課題の解決には時間がかかるが維持管理はしっかり対応すべき。
- 鹿島SA周辺施設の整備計画などもあるので、鹿島をどのように発展させていくかを全体的に考えて欲しい。
- 何かひとつでも形に残してもらいたい。将来は明るいと思いたい。
- 将来を見据えた道路ネットワークにしてもらいたい。民間開発の流れを感じてもらい、道路整備をお願いしたい。
- 取組みをPRしながら、鹿島区全体で機運を上げていくことが大事。
- 今回挙がった課題は、生活している市民の生の意見でどれも大事。全部一度に解決するのは無理だと思いますが、優先順位をつけて実施してもらいたい。
- 道路ネットワークの整備が進めば便利になると思う一方、通り過ぎるだけで不便になる側面もあるかもしれないので道路はちょっとだけ便利になればいいのでは、というところがいい落としどころなのではと感じている。

7. 今後の方針

市では今後、道路課題の解決に向けて取り組んでまいります。すべてを一度に実現することは難しいですが、中長期的な対応が必要なのは関係機関と協議し、短期的に対応可能なものは早期事業化に向けて予算確保に努めるなど、いただいたご意見の一つひとつに形にできるよう取り組みます。また、本検討会の報告書を作成し、ホームページへの掲載などにより広く周知を図ります。委員の皆様におかれましては、ご多用のところご参加いただき、貴重なご意見を賜り誠にありがとうございました。

概要版一覧表

分類	国道6号と市街地のアクセス改善	市街地環状線の構築	鹿島小送迎路・避難路の整備	鹿島SICと市街地のアクセス道路	その他 (交通安全、維持管理)
検討会 ご意見	・国道とJRの距離が近い ・踏切拡幅の場合、集約が求められる ・茂手踏切が狭い ・横手踏切が接続角度が悪い、狭くすれ違い困難。国道への直線的な接続が難しい ・横手踏切廃止には野馬追ルート変更が可能か確認が必要 ・上町踏切が混雑する ・茂手踏切が横手踏切が拡幅されれば上町踏切の混雑が解消されるかもしれない ・国道から東の地域との西の地域の接続が悪い	・鹿島中学校周辺含む市街地の道路が環状道路になっていない、中学校へのアクセスがよい(中143号線含む) ・旧国道(県道鹿島浪江線)の歩道拡幅工事は難しいと思うので、市道1-1号線をメインと捉えた道路網構築をするべき ・市街地の道路について、交差点がクランク形状ではなく、一筆書きで周回できる市街地道路網が理想 ・南東側から中学校へ向かう時の道路法線が悪い。(中188号線) ・交番の前の丁字路(市道1-1号線)が危険	・朝、海老街道踏切周辺は小学校の送迎車両が多いが狭いため、実質一方通行になっている ・小中一貫校の可能性がある。送迎時のルール作りはできていることから、鹿島小学校周辺の道路整備は急ぐ必要がないのではないか(苦情や事故も少ない) ・あさひ地区に岩妻茂手線に抜け道を作るべき ・真野川沿いの土手の道路が狭い、岩津茂手1工区の整備をするべき ・海老街道踏切から西側に向かう道路が狭く混雑するので、特に災害時の生徒の避難に関して不安、避難経路の整備が必要	・鹿島SICと市街地を結ぶアクセス道路がない ・県道相馬浪江線に歩道がない区間がある	・道路除草、清掃が必要 ・区画線、防犯灯、点字ブロック、信号機、横断歩道の設置が必要 ・通学路や学校周辺の歩道設置・歩行空間の確保が必要 ・県道浪江鹿島線は歩道がなかったり狭かったり段差があり改善が必要。しかし旧道であるし、歩道拡幅を行うのは沿線への影響が大きく難しいと思う
課題要約	・国道とJRの距離が近い ・踏切が狭小、接続角度悪い、すれ違い困難(特に横手踏切、茂手踏切) ・上町踏切の渋滞 ・国道とのアクセス改善が必要(特に北側) ・国道の東側と西側の接続が悪い	・市街地の環状道路が必要 ・鹿島中学校へのアクセス改善 ・クランク形状の交差点改善が必要(市道188号線、市道1-1号線交番前)	・海老街道踏切から西側の道路が狭い ・鹿島小学校の送迎道路の混雑 ・避難経路の整備が必要 ・真野川沿いの土手の道路が狭い(岩妻茂手線1工区)	・鹿島SICと市街地を結ぶアクセス道路がない ・県道相馬浪江線に歩道がない区間がある	・道路除草、清掃が必要 ・区画線、防犯灯、点字ブロック、信号機、横断歩道の設置が必要 ・歩道設置・安全な歩行空間が必要 ・県道浪江鹿島線の歩道の改善が必要
課題解決に向けた 具体的方策	【短期】 長期未着手都市計画道路見直し 関係機関との協議 (福島県、国交省、石巻市など) 踏切改良工事(横手踏切or茂手踏切) 道路拡幅工事(横手踏切or茂手踏切) ※踏切の集約が必要となる可能性大 【中長期】	市道143号線の道路整備 環状線交差点部クランク解消整備 (市道188号線の道路整備) 環状線交差点部クランク解消整備 (市道1-1号線の交番前のクランク解消) 市道1-1号線を主要道路とした維持管理、安全対策	小中学校一貫校の方針を確認し整備の必要性を判断 小学校送迎道路の拡幅工事 (あさひ地区) 岩妻茂手線(1工区)の整備	セデッテ周辺施設の整備の計画に合わせ整備を検討 鹿島SICと市街地を結ぶアクセス道路の整備 ほ場整備(浮田地区)の整備に合わせた歩道整備を検討 県道相馬浪江線に歩道設置	道路の維持管理 (除草、清掃) 交通安全対策 (区画線、防犯灯、点字ブロック、信号設置) 通学路や学校周辺の歩道設置・安全な歩行空間の確保
期待される効果	・国道6号と市街地北側のアクセス改善 ・踏切通行時の安全性向上 ・交通需要の分散による上町踏切付近の渋滞緩和 ・国道の東側と西側のアクセス改善	・環状道路構築による交通の円滑化 ・鹿島中学校周辺を含めた市街地のアクセス改善 ・移動時間の短縮 ・危険な交差点の解消	・鹿島小送迎時の混雑解消 ・西方向への避難時の交通の円滑化	・鹿島SICと市街地のアクセス強化 ・歩行者等の安全確保と車両の円滑な通行の確保(県道相馬浪江線)	・道路交通環境の確保 ・運転者や歩行者の安全確保 ・交通事故防止

※検討会での意見から課題と方策をまとめたものです。これをもとに、市では事業化の検討を進めてまいります。